



2018年9月20日

### QB 第一号ファンド 「大豆エナジー株式会社」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「大豆エナジー株式会社（代表取締役 井出 剛）」（以下「当社」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

#### 記

#### 1. 対象企業の概要

会社名	大豆エナジー株式会社
本社住所	熊本県熊本市中央区南熊本 3-14-3 くまもと大学連携インキュベータ
代表者	代表取締役 井出 剛
設立	2017年10月
事業内容	植物由来機能性物質の探索 植物由来機能性物質を用いた食品、創薬原料の開発、製造及び販売
当社URL	<a href="https://www.daiz-energy.co.jp/">https://www.daiz-energy.co.jp/</a>

当社は、独自の技術である落合式ハイプレッシャー法<sup>※1</sup>をコア技術として、食品、機能性素材、試薬、化粧品、創薬分野の企業に対し、構造多様性に富んだ薬理活性<sup>※2</sup>の高い天然化合物ライブラリーを多種・大量に構築することにより、シード化合物<sup>※3</sup>の大規模な候補群を提供する研究開発型ベンチャーです。

※1 落合式ハイプレッシャー法：植物種子の発芽過程で酸素濃度や二酸化炭素濃度を変化させるなど、環境負荷を加えることで、栄養価を飛躍的に向上させる新技術

※2 薬理活性：薬の効果

※3 シード化合物：創薬や分子設計において、出発となる化合物

#### 2. 出資の理由

本件は、当社の下記の点を評価し、出資を行いました。

##### (1) 技術優位性

- ・ 多種多様な天然化合物の産生を可能とする独自の技術である落合式ハイプレッシャー法を有していること。

##### (2) 研究開発機関とのリレーション

- ・ 九州大学農学部生命機能科学部門 松井 利郎教授をはじめ、京都大学院農学研究科、公益財団法人がん研究所等と共同研究を実施していること。

##### (3) 地域経済の活性化

- ・ 大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以上

参 考

『QB 第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立した QB キャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

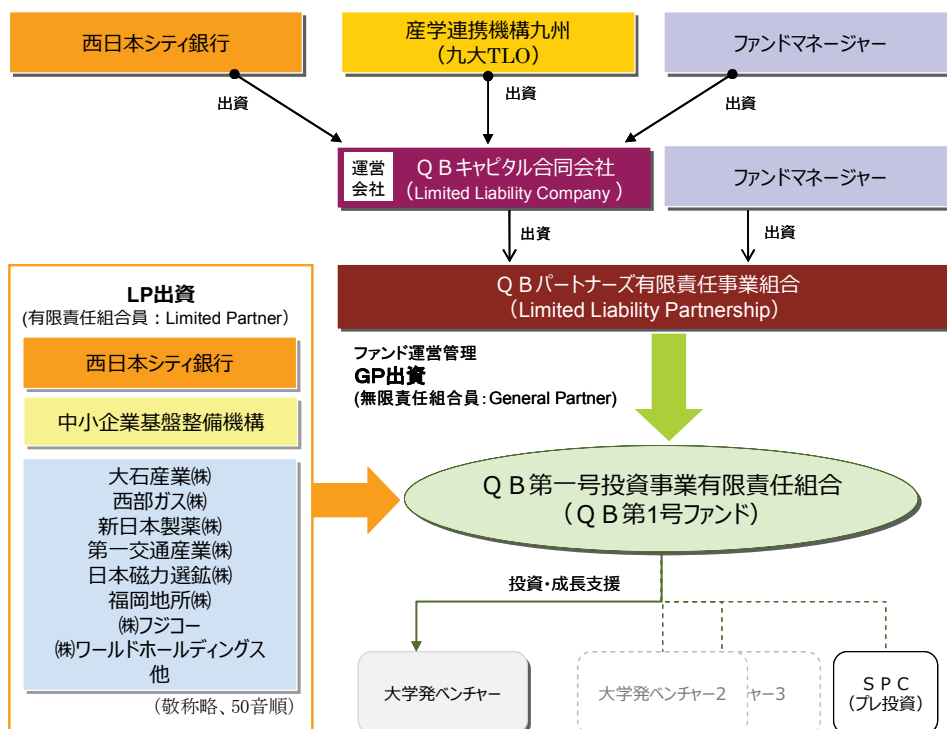
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	2015 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナース有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	2015 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先  
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741